

空港アクセス特急 2000系「ミュースカイ」がグッドデザイン賞を受賞  
～10月7日から31日まで記念ヘッドマークを掲出～

2005年度グッドデザイン賞(財団法人日本産業デザイン振興会主催)受賞作品が10月3日(月)に発表され、当社の車両としては初めて、中部国際空港アクセス特急として活躍している2000系「ミュースカイ」が選ばれました。

これを記念し、同7日(金)から31日(月)まで、同車両全10編成の車両先頭及び側面にグッドデザイン賞の「Gマーク」を順次掲出して運行します。

同車両のデザインコンセプトは、全車特別車の空港専用特急であることが一目でわかることと、これまでの鉄道車両にない斬新なデザインとすることです。具体的な特徴は次の3点です。

車体のカラーリングは、これまでの名鉄車両のシンボル色であるスカーレットから一新し、海上空港をイメージする海の青さや水の透明感を表現するため、青と白で塗り分けました。トイレの洗面台もスケルトンタイプとするなど、車内にも透明感を演出しました。

同車両は連結貫通を行うため、車両先頭部の形状が切妻タイプに限定されます。そこでインパクトを出すため、車両先頭部全面に世界で初めて透明樹脂板を使用し、透明感を表現しました。また、切妻タイプながらもできるだけ丸みのある形状とし、スピード感を表現しました。

ユニバーサルデザインや車内案内表示に点字表記を採用するなど、バリアフリーに対応しました。

なお、同車両は現在3両編成ですが、輸送力向上のため来春以降4両編成に増強する予定です。

「ミュースカイ」グッドデザイン賞受賞記念ヘッドマーク

